

作成：平成24年2月8日

最終改訂：令和6年5月24日

整理番号 10006

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） ガス分析用鉄鋼標準物質

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝2丁目13番4号 住友不動産芝ビル4号館		
	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
製造者情報	会社	JFE テクノリサーチ株式会社 倉敷事業部		
	住所	〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目		
推奨用途	分析試験用			
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。			

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

鉄鋼標準試料としては、一般環境下では、現在のところ危険有害性に関する有用な情報は無い。なお、本製品に含まれる元素成分については、下記の有害性情報がある

健康に対する有害性：皮膚腐食性/刺激性 区分2
目に対する重篤な損傷性/目刺激性 区分2
呼吸器感作性 区分1
皮膚感作性 区分1
発がん性 区分2
生殖毒性 区分1B
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分1(呼吸器・腎臓)
区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(呼吸器)

環境に対する有害性：水性環境有害性 長期(慢性) 区分4

ラベル要素

絵表示



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：皮膚刺激、強い目刺激、吸引するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ、アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ、発がん性のおそれの疑い、生殖能又は胎児への悪影響のおそれ、臓器の障害、呼吸器への刺激のおそれ、長期間にわたる又は反復暴露による臓器の障害、長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き：

【安全対策】

- ・全ての注意事項を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレー等を吸引しないこと
- ・取扱い後は手を良く洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。

【応急処置】

- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・吸引した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
- ・暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断・手当を受けること。
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断・手当を受けること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を再利用する場合には選択すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物・容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

物質の特定

化学物質・混合物の区別	：	混合物（鉄を主成分とした合金鋼）
化学名	：	鉄 Fe、ニッケル Ni、クロム Cr、マンガン Mn モリブデン Mo、銅 Cu
化学式及び含有量	：	Ni:12.0%以下, Cr:21.0wt%以下, Mn:2.0wt%以下, Mo:1.0wt%以下, Cu:1.0%以下 残り Fe (微量の炭素 C, リン P, 硫黄 S, 窒素 N, ケイ素 Si を含む) (上記以外の成分(金属・酸化物)を 0.1%以上含む可能性がある)
CAS 番号	：	Fe:7439-89-6, Ni:7440-02-0, Cr:7440-47-3, Mn:7439-96-5, Mo:7439-98-7, Cu:7440-50-8

官報公示又は整理番号

- ・化審法：対象外
- ・安衛法(名称等を通知すべき有害物)：マンガン 550、ニッケル 418、クロム 142、モリブデン 603、銅 379
- ・安衛法特定化学物質(第二類物質)：マンガン 33
- ・安衛法 皮膚等障害化学物質等：ニッケル、クロム、マンガン、銅
- ・PRTR 法：マンガン 1 種 412、ニッケル 1 種 308、クロム 1 種 87
モリブデン 1 種 453

4. 応急措置

本製品は通常状態で固体であり、一般環境下では応急措置が必要な事態は発生しない。加工等により発生した粉塵/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合は、以下に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当を受けること。

吸引した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：水と石鹼で洗い流すこと。

眼に入った場合：清浄な水で洗うこと。必要に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄する。多量に飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

本製品は不燃性であり、一般環境下では引火及び発火の危険性は無い。周辺火災時においては、その燃焼物の消火に適した措置を行うこと。

消火剤：消火剤に制約は無い。火災の状況に適した消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。

保護具及び緊急時措置：関係者以外を立入禁止にする。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項：漏出した製品が外部に排出され環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：漏出したものを掬い取りまたは掃き集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：粉末にして使用してはならない。

保管：品質保持のため容器は密封し、空調されたデシケータに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

本製品は一般的な環境下では安定であり、ばく露防止及び保護措置に関する有用な情報はない。成分ごとの許容濃度は下記に記載する。

名称	化学式	CAS No.	日本産業衛生学会 許容濃度 (mg/m ³)	ACGIH TLV-TWA(mg/m ³)
マンガン	Mn	7639-96-5	0.02 (吸引性粉塵) 0.1 (総粉塵)	0.2
ニッケル	Ni	7440-02-0	1	1.5(インハラブル粒子)
クロム	Cr	7440-47-3	0.5	0.5(Inhalable fraction of aerosol)
モリブデン	Mo	7439-98-7	-	10(吸引性粉塵) 3(呼吸性画分)
銅	Cu	7440-50-8	-	0.2(ヒューム) 1(粉塵、ミスト)
鉄	Fe	7439-89-6	-	-

設備対策：成分分析に使用する際には分析方法に適した作業環境を確保すること。

保護具：成分分析に使用する際には分析方法に適した保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

鉄鋼標準物質 P/N YY-001-103 YY-001-109 YY-001-120 YY-001-121 YY-001-122
YY-001-122-001 YY-001-123 YY-001-124 YY-001-125 YY-001-126 YY-001-127 YY-001-128 YY-001-129

物理状態	: 固体、約 1g または約 0.5 g
色	: 銀白色
臭い	: 無臭
融点	: >1000°C
沸点	: >2000°C
可燃性	: 知見なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 知見無し
引火点	: 知見無し
自然発火点	: 知見無し
分解温度	: 知見無し
pH	: 知見無し
動粘性率	: 知見無し
溶解性	: 知見無し
蒸気圧	: 知見無し
比重	: 7~9 g/cm ³
相対ガス密度	: 知見無し
粒子特性	: 知見無し
溶解性	: 水、有機溶剤に不溶、酸に可溶

10. 安定性及び反応性

反応性	: 酸と反応し溶解する。
化学的安定性	: 一般環境下では安定である。
危険有害反応可能性	: 酸と接触すると有害ガス発生の要因となる可能性がある。
避けるべき条件	: 高温、混触危険物との接触
混触危険物	: 酸化性物質など
危険有害な分解生成物	: 加工などにより発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

11. 有害性情報

本製品は一般環境下では現在のところ危険有害性に関する有用な情報はない。

なお、本製品に含まれる元素成分については下記の有害性情報がある。

有害性項目	Mn	Ni	Cr	Mo	Cu
急性毒性	—	—	—	—	—
皮膚腐食性/刺激性	区分 3	—	—	区分 2	—

鉄鋼標準物質 P/N YY-001-103 YY-001-109 YY-001-120 YY-001-121 YY-001-122
YY-001-122-001 YY-001-123 YY-001-124 YY-001-125 YY-001-126 YY-001-127 YY-001-128 YY-001-129

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B	—	区分 2	区分 2	—
呼吸器感作性	—	区分 1	区分 1A	—	—
皮膚感作性	—	区分 1	区分 1A	—	区分 1A
生殖細胞変異原性	—	—	—	—	—
発がん性	—	区分 2	—	—	—
生殖毒性	区分 1B	—	—	—	—
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 1	区分 1	区分 3	区分 3	区分 1,3
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 1	区分 1	—	—	区分 1
誤えん有害性	—	—	—	—	—

12. 環境影響情報

本製品は一般環境下では現在のところ危険有害性に関する有用な情報はない。

なお、本製品に含まれる元素成分については下記の有害性情報がある。

有害性項目	Mn	Ni	Cr	Mo	Cu
水性環境有害性 短期(急性)	—	—	—	—	—
水性環境有害性 長期(慢性)	区分 4	—	—	—	—
オゾン層への有害性	—	—	—	—	—

13. 廃棄上の注意

製品、容器、包装などは、国または地方の関連法規制を厳守し、環境に配慮した適正な方法で処分する。

14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

容器漏れのない事確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

(3 項参照)

鉄鋼標準物質 P/N YY-001-103 YY-001-109 YY-001-120 YY-001-121 YY-001-122
YY-001-122-001 YY-001-123 YY-001-124 YY-001-125 YY-001-126 YY-001-127 YY-001-128 YY-001-129

16. その他の情報

参考文献

本製品製造元の SDS(2022.04.01)：JFE テクノリサーチ株式会社

JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、作業場内の表示および安全データシート

化学便覧：丸善

職場のあんぜんサイト：厚生労働省

NITE 化学物質総合情報提供システム：独) 製品評価技術基盤機構

作成；平成24年2月8日

改訂：平成27年8月21日 P/N 追加、名称変更

平成27年11月30日 書式変更

平成28年10月18日 P/N 追加、内容見直し、法令見直し

平成29年3月21日 対象製品追加

平成30年1月29日 対象製品追加

平成30年10月12日 対象製品追加、組成改訂

令和元年12月25日 対象製品追加

令和4年4月13日 製造元 SDS 更新、法令見直し、2019年版 JIS 対応

令和5年4月1日 法令見直し

令和6年5月24日 法令見直し

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。